

こころんねっせ

第54号

2024年7月発行



マスコットキャラクター「こころん」

今年も昭和区総合水防訓練が開催されました。

近年集中豪雨や台風被害が多くみられるようになり、そうした風水害の起きやすい時期が来る前に、地域住民の方に対策などを知ってほしいという想いで毎年行っている昭和区水防訓練が、今年は5月26日(日)に村雲小学校にて開催されました。

私たち昭和区社会福祉協議会は、日頃から防災の啓発などを行っている「なごや防災ボランティアネットワーク昭和」の皆さんとともに参加しました。

参加者の方からは、「災害時、避難所ではトイレが使えないことが多いという話を聞いて、まずは自分でも非常用トイレを日頃から準備しておくようにしたい」という声が聞かれました。それぞれがすぐに始められる災害時の備えをしておくことが大切ですね。



小型舟艇による冠水時避難行動訓練の様子

ボランティア紹介 福祉クロストーク 第4回



今回は「つなぐ子ども未来」代表の安藤綾乃さんと「なごや防災ボランティアネットワーク昭和」の小塚勝さんにお二人の活動についてお話を伺いました。



写真／(左)小塚さん、(右)安藤さん

小塚さん

僕は仕事を定年退職してから何か活動をしたいと思って、パソコン教室のインストラクターの資格を取ったんだ。でも、ずっと会社人間だったから会社関係以外、知人が全くいなくて、生徒を集めようとする中で老人クラブの会長を引き受けた。それが地域活動をするきっかけになったね。その後、防災講座の受講をきっかけに防災に興味を持って、当時の受講者仲間と「なごや防災ボランティアネットワーク昭和」を設立したんだ。

安藤さん

私は第2子を出産したあと、育休を取る中で子育て中のママたちと一緒に「子ども食堂をやるか」って思って、昭和区内を巡回する子ども食堂の活動を始めたんだよね。その後はひとり親家庭への支援でお弁当や食品を届けたり、カウンセラーによる相談もできるようにしたり。1月の能登半島地震では、食料支援でつながりのある企業さんからの相談をきっかけに、被災地支援をすることにもなったね。小塚さんにはお弁当を配るためにいろんなところに走り回ってもらったね(笑)

小塚さん

安藤さんと知り合って子ども食堂と防災を同時に取り上げたイベントと一緒にいったときに、安藤さんの活動に共感して「応援団長やるよ!」って思ったんだよね。防災のこともそうだけど、どんな活動も楽しいからやっているって感じかな。

安藤さん

私たちの活動は全然違うように実は根本のところではつながっているんだよね。小塚さんは災害が起きたときのために普段から地域の中でつながりを作ろうというように、前提に目的があってそのために地域へつながっていく活動の仕方だけど、私はまず自分から地域につながりに行って、そこ





で「地域にはこんな人がいるんだ」「地域でつながることにはこんなメリットがあるんだ」って知っていく中で、その社会で自分がやれることを見つけしていく活動の仕方をしている。活動の進め方は逆だけど、つながることの究極の目的としていざとなったときに助け合えるっていうことがあると考えたら、行きつくところは同じなんだよね。

小塚さん

地域とつながることは大切なことだけど、それを切実に感じていない人も中にはいる。そんな人たちにどうしたら「自分にとっても大切なことなんだ」って感じてもらえるかってことを考えながら活動しているよ。防災の関係では、残念ながら“自分のこと”と考えていない人が多い。いろいろな場所に伺って防災のお話をさせていただいているが、今回の能登半島地震でいうと、「地震が起きても自分は怪我をしないよ」と言い切れるほど家具の固定などの備えをしている人は少ない。また、この地震で皆さんも強く感じたと思うけど、停電・断水した時のトイレ対策など大変な事態だ。これを機に、一歩でも二歩でも備えを進めて欲しいな、と強く感じているよ。

能登半島地震 災害義援金のお礼



令和6年1月に発生した能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援するため中央共同募金会では「令和6年能登半島地震災害義援金」の募集を行っています。

皆様からお寄せいただいた義援金は、被災県において取りまとめられ、被災市町村を通じて被災者へ配分されています。

昭和区共同募金委員会を通じて **1,243,768円**の
義援金をお寄せいただきました。(令和6年5月末日現在)

※義援金の募集は令和6年12月27日(金)まで延長して実施しています。

ボランティア保険加入のご案内

万が一の事故等に備えて
ご加入をお勧めします。

ボランティア活動保険

ボランティア個人・グループ等で
年間を通して活動する方

ボランティア行事用保険

行事の主催者である団体・グループ等で
数日間の行事を主催する方

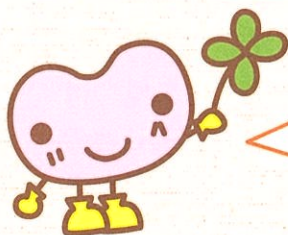


保険の詳細は愛知県社会福祉協議会HPをご覧ください。
<http://www.aichi-fukushi.or.jp/vol/index.html>

申込
窓口

昭和区社会福祉協議会(印鑑をご持参ください)
受付/平日9:00~17:00

学区社会福祉協議会リレー報告



学区社会福祉協議会は、全ての住民が安心して暮らすことができる福祉のまちを、住民が主体となって地域総ぐるみで推進することを目的とした団体で小学校区を単位として設置されています。

このコーナーでは、昭和区内の学区社会福祉協議会の活動を順番にご紹介していきます。

滝川学区

第2次福祉行動計画を作成しました！！



第1次滝川学区福祉行動計画は2019年に住民の「こんなまちであつたらいいな」という思いを話し合いながら策定されました。その後、5年が経過し、現在の学区の実情に合わせた形で新たに今後どんなことができるかを話し合いながら、新しい計画を策定しました。

4つのテーマを掲げて今後の5年間で力を入れて取り組んでいきます！

①子どもが豊かに育つまち

子どもから高齢者まで世代を超えて交流し、愛着をもってもらえるまちに

②地域活動へ参加しやすいまち

地域活動の人材不足解消のしくみづくり



③住民同士のつながりを大切にするまち

日ごろのつながりづくりを大切に地域の人的・社会的資源の活用

④災害に強いまち

災害時に備えたご近所付き合いと防災の仕組みづくり

滝川学区 相談窓口

日時 毎週水曜日 13時～16時、毎週木曜日 9時～12時

場所 滝川コミュニティセンター

連絡先 052-710-8621 (滝川コミセン)
090-6675-6071 (相談窓口専用)



今年度から始まった重層的支援体制整備事業とは？

8050問題など複合的な課題や制度の狭間にあり、必要な支援が行き届いていない人や世帯に対し、高齢・障害・児童などの属性や世代を問わない相談支援体制の構築を目指し、①断らない相談支援、②参加支援、③地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業です。

「包括的相談支援チーム」が、この事業の中核として既存の相談支援機関や地域の皆さんと連携して対応します。「包括的相談支援チーム」は社会福祉士などの専門職6名で構成されています。

今回は、「関係機関との連携による支援」をご紹介します。



※暮らサポ：仕事・暮らし自立サポートセンター…………… 仕事・家計・住まいなど、生活のさまざまな悩みを抱える方への相談窓口
※いきいき：いきいき支援センター（地域包括支援センター）…………… 健康・福祉・介護など、さまざまな面から高齢者を支える身近な相談窓口



第42回 昭和区の福祉まつり 7/27(土)・28(日)

「ともに生きる地域づくりをめざして」をスローガンに、区内の福祉関係者が企画・運営している子どもから大人まで楽しめる催しです。皆さまのご来場をお待ちしております。

シンポジウム

日時 7月27日(土) 10:30～12:00

場所 昭和区役所2階 講堂

内容 「災害を生き抜くために
～災害に強い地域をめざして～」



福祉まつり

日時 7月28日(日) 10:00～15:30

場所 昭和区役所2階 講堂他

内容 パネル展示、ステージ、人形劇、
模擬店、バザーなど



こころんクイズ

空欄①、②に入る言葉は何でしょう？

- 今年度から始まった事業は?(①)的支援体制整備事業
- 事業内容「関係機関との(②)による支援」

ご応募いただいた方の中から、抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。ハガキかFAX、メールにクイズの答え、氏名、住所、今月号のご感想をご記入の上、昭和区社会福祉協議会までお送りください。締切は令和6年8月15日(木)必着。当選者の発表は図書券の発送をもってかえさせていただきます。

こころんクイズ 53号 解答

- ①しだ
- ②なかんずく
- ③とし



寄付のお礼

(2024年5月末現在)

次の方々から本会へご寄付いただきました。寄付金品は昭和区の地域福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

- 名古屋ヤクルト販売(株) 様
- 三菱UFJニコス(株) 様
- 昭和鯉城会 様
- 橋本りゑ子 様
- 河村泰子 様
- 匿名17名 (順不同)

令和5年度 社会福祉法人 名古屋市昭和区社会福祉協議会 収支決算

収入 252,738,375 円(100%)

受託金収入	33.5%	会費・寄附金収入	1.7%
介護保険収入	26.5%	事業収入	0.3%
補助金・助成金収入	20.5%	その他収入	0.4%
共同募金配分金収入	2.2%	受取利息配当金収入	0.2%
負担金収入	0.8%	前年度繰越金	13.9%

支出 252,738,375 円(100%)

デイサービスセンター事業	8.7%	助成事業(共同募金含む)	7.2%
福祉会館事業	8.1%	在宅サービスセンター関係費	2.0%
児童館事業	4.0%	はつらつ長寿推進事業	0.7%
人件費	48.6%	広報費	0.3%
地域福祉推進事業	4.6%	次年度繰越金	15.8%

社会福祉法人名古屋市昭和区社会福祉協議会

〒466-0051 名古屋市昭和区御器所三丁目1-1
電話：884-5511 FAX：883-2231 E-mail：fukushi@showaku-shakyo.jp

ホームページ

昭和区社会福祉協議会 ホームページQRコード➡
<https://www.showaku-shakyo.jp/>



目の不自由な方へ、この情報誌「こころん」を録音したCD・点字版の貸し出しを行っています。(無料)

編集・発行

社会福祉法人名古屋市昭和区社会福祉協議会

交通のご案内

■地下鉄：鶴舞線「荒畑」駅4番出口から徒歩5分 ■市バス：栄20系統「荒畑」下車、金山26系統・昭和巡回系統「御器所四丁目」下車

